

私立大学環境保全協議会 第41回総会・研修研究会 プログラム

日時

【第1日】2025年3月13日（木）

| | |
|--------|-------------|
| 総会 | 13:00～13:30 |
| 講演会 | 13:30～15:40 |
| グループ討議 | 16:00～17:20 |
| 情報交換会 | 17:30～19:00 |

【第2日】2025年3月14日（金）

| | |
|----------|-------------|
| グループ討議 | 9:30～11:00 |
| 講演会 | 11:20～12:20 |
| キャンパス見学会 | 12:30～13:30 |

※総会、講演会は、オンデマンド配信・ライブ配信の予定です。

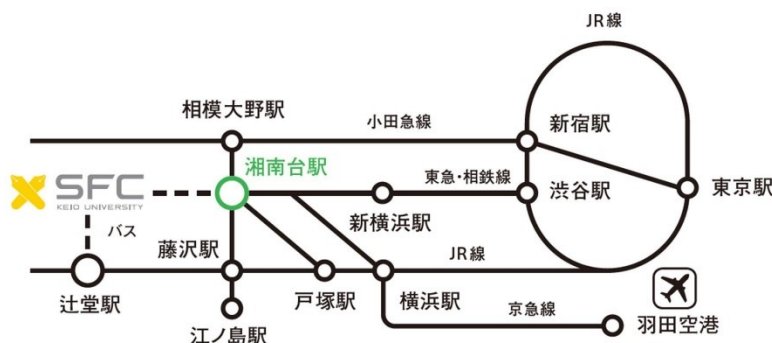
特別企画：「保護具着用管理責任者講習会」（法定講習・計6時間）

2025年3月12日（水）13:00～17:20、3月13日（木）9:50～12:00

会場

慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス（神奈川県藤沢市遠藤 5322）

TEL 0466-49-3405（管財担当）

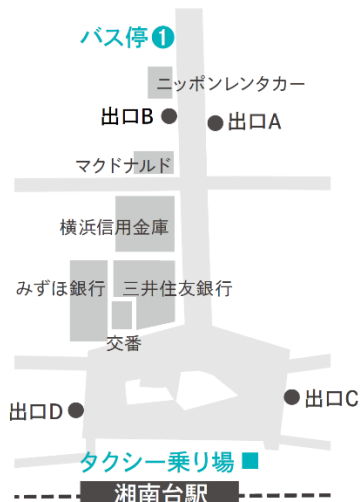


最寄り「湘南台駅」からバスで約15分

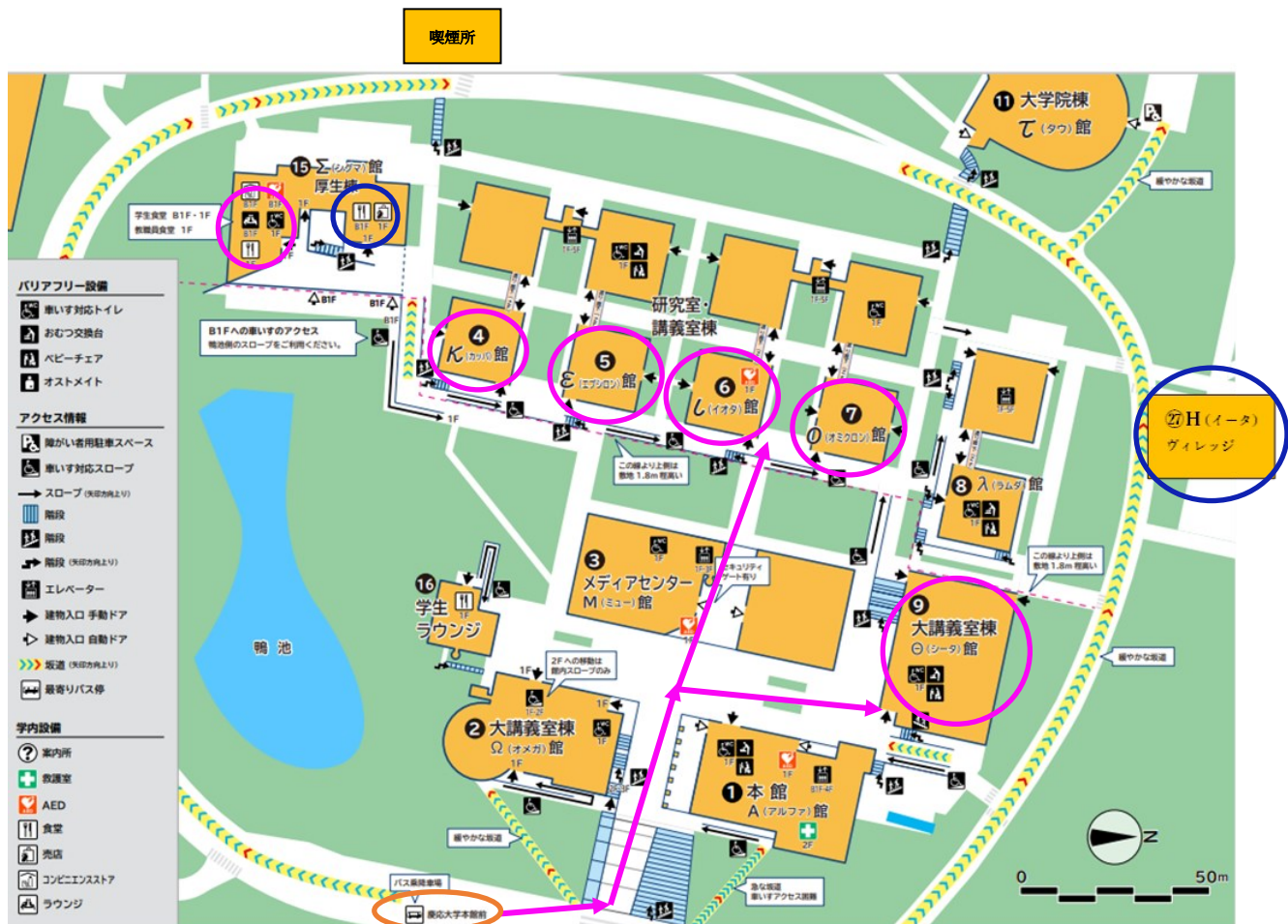
- ・小田急江ノ島線・相鉄いずみ野線・横浜市営地下鉄ブルーライン「湘南台」駅
- ・新横浜→[相鉄新横浜線※]→西谷→[相鉄本線]→二俣川→[相鉄いずみ野線]湘南台（約40分・直通）
- ・羽田空港→[京浜急行線]→横浜[相鉄線/横浜市営地下鉄ブルーライン]→湘南台（約70分）

※JR埼京線、東京メトロ副都心線、東急東横線、都営三田線、東京メトロ南北線、東急目黒線 乗入
→「湘南台駅」西口B出口から

地上に上がり、1番バス乗り場から神奈中バス「湘23系統 慶応大学」「湘24系統 笹久保経由慶応大学」「湘25系統 急行・慶応大学」行きに乗り、約15分「慶応大学本館前」下車



慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス
交通アクセス



主要会場

- 【9】θ (シータ) 館 : 総会、講演会会場 (定員 600 名)
- 【4】κ (カッパ) 館 : κ11 (定員 70 名)、κ12 (定員 79 名)
- 【5】ε (エプシロン) 館 : ε11 (定員 72 名)、ε12 (定員 72 名)
- 【6】ι (イオタ) 館 : ι11 (定員 126 名)、ι12 (定員 70 名)
- 【7】ο (オミクロン) 館 : ο11 (定員 70 名)、ο12 (定員 126 名)
- 【15】Σ (シグマ) 館 ファカルティクラブ: 情報交換会会場

昼食可能場所

- 【15】Σ (シグマ) 館 (コンビニエンスストア、カフェテリア「レディバード」) (※学生食堂は休業期間)
 - 【16】学生ラウンジ (サブウェイ)
 - 【27】H (イータ) ヴィレッジ (ソルト・ハウス[学生食堂※昼食のみ])
- ※給水機も利用可能

参加費 なお、研修研究会参加費と講習会参加費は合わせてお振込みください。

※研修研究会参加費 (非課税)

| 区分 | 研修研究会参加費 (情報交換会参加費含む) |
|------------------|-----------------------|
| 会員校 教職員 | 10,000 円 |
| 会員校 学生 | 無料 |
| 賛助会員 | 10,000 円 |
| 大環協会員 | 10,000 円 |
| オブザーバー (上記以外の区分) | 12,000 円 |

※特別企画「保護具着用管理責任者講習会」(法定講習・計 6 時間) 参加費: 5,000 円 (非課税・実技費用等含む)

【参加費振込先】三菱 UFJ 銀行 高田馬場駅前支店

(普) 3688955

シリツダイガクカンキョウホゼンキョウギカイ オシオ ヒロシ

3月12日(水)

保護具着用管理責任者講習会(4h) 13:00-17:20 会場：ι 館 ι 11

3月13日(木)

保護具着用管理責任者講習会(2h) 9:50~12:00 会場：ι 館 ι 11

≪総会≫ 13:00~13:30 会場：θ 館 大講義室

≪研修研究会≫ 司会：私立大学環境保全協議会 理事（岡山理科大学 教授） 横山 崇
会場：θ 館 大講義室

1. 開会挨拶 13:30~13:40 私立大学環境保全協議会 会長
2. 開催校挨拶 13:40~13:50 慶應義塾大学 総合政策学部長 加茂 具樹
3. 特別講演 13:50~14:40 (50 分間)

「カーボンニュートラルに向かう世界の動向」

慶應義塾大学 環境情報学部 特別招聘准教授 有野 洋輔

人為的な地球温暖化の影響により、2023 年の世界平均気温は観測史上最高値を更新しました。本講演では、進みゆく気候変動とカーボンニュートラル達成に向けて動き出した世界の潮流や動向を解説します。

◇デモ展示見学会・(休憩 10 分)◇

4. 研修講演 14:50~15:40 (50 分間)

「環境省の脱炭素施策と慶応大学 SFC での取組について」

慶應義塾大学 環境情報学部 准教授 和田 直樹

2050 年カーボンニュートラルの実現に向け国の政策も大きく進展しています。環境省が行う地域脱炭素の施策をご紹介するとともに、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス (SFC) で実施するキャンパスのサステナビリティ向上の取組をご紹介します。

◇デモ展示見学会・移動 (20 分)◇

5. グループ討議 16:00~17:20 (80 分間) 会場：κ ε ι ο 各館 1F 教室

※ I ~ III グループから一つ選択してご参加ください。

I : 教育と連携「生物多様性の保全に向けた大学と地域の連携① — 生物多様性保全の重要性 —」

今回から SDGs の実現に向け大学・学生・地域が一体となった生物多様性の維持や保護活動を考えます。1 回目はアフリカ・ケニアの生物多様性・環境保護と観光など人間活動との両立がテーマ。ケニアの生物多様性を脅かす要因は密猟や貧困問題など様々です。中でも今回はオーバーツーリズムを主軸にして問題提議をします。生物多様性の保護と人間活動の両立のため、私たちは何をすべきか？ 地球規模の環境保全と全ての人を取り残さないという SDGs の実現のために考えてみましょう。

グループ内講演

「マサイマラの生物多様性・環境保護と観光の両立について」

株式会社道祖神専属サファリガイド／東京 eco 動物海洋専門学校非常勤講師

加藤 直邦 氏

II：化学物質「新たな化学物質規制体系に向けた対応について」

前回までのグループ討議で取り上げた、化学物質規制体系の見直しについて、新たな情報等をもとに、複数のグループに分かれて、テーマに応じた意見交換などを行うことを予定しています。

- II-A：化学物質 法改正概要
- II-B：化学物質 アセスメント実務
- II-C：化学物質 管理体制
- II-D：化学物質 ばく露軽減措置
- II-E：化学物質 安全教育
- II-F：化学物質 実験系廃棄物

III：施設・設備「大学施設で実現可能な ZEB 化改修について（実践編）」

既存施設の ZEB 化改修計画の実践編として具体的な事例を交えて討議・意見交換を行います。また、TCFD の取り組み、新冷媒(R32)への移行などについて情報提供も行います。

グループ内講演

「大学における既設校舎の ZEB 改修検討事例」ダイキン工業株式会社（14 日予定）

情報提供

「TCFD 提言について」日建設計総合研究所（13 日予定）

「PFAS について」株式会社環境向学（13 日予定）

「ビル用マルチ（R32 冷媒仕様）の安全対策について

（施設管理におけるポイント）」ダイキン工業株式会社（14 日予定）

6. 情報交換会 17:30～19:00（90 分間） 会場：Σ 館 ファカルティクラブ「タブリエ」

3月14日(金)

司会：私立大学環境保全協議会 理事（慶応義塾大学 教授）末永 聖武

1. グループ討議 9:30～11:00（90 分間） 会場：K E L O 各館 1F 教室
（前日より引き続き討議を行います）

◇デモ展示見学会・移動（20 分）◇

2. 話題提供 11:20～12:10（50 分間） 会場：θ 館 大講義室

「多様化する大学の環境安全」

大学等環境安全協議会 会長 大島 義人

研究分野や構成員の多様化に伴い、大学における環境安全の課題も多様化が進んでいる。折しも、今年度から化学物質の自律的リスク管理を求める法律が施行され、大学の環境安全は新たな転換期を迎えていると言える。これらの課題に対し、各大学の多様な個別事情を踏まえつつ、相互に連携を図り、大学におけ

る環境安全のあり方について考え方を共有する取り組みが重要であると考えられる。本発表では、「廃棄物を含む環境」「自律的化学品管理」「安全教育」等に関する大環協の最近の活動例を紹介しながら、多様化する大学の環境安全における連携の重要性について講演する。

- | | | |
|-------------|-------------|-----------------|
| 3. 閉会挨拶 | 12:10～12:20 | 私立大学環境保全協議会 副会長 |
| 4. キャンパス見学会 | 12:30～13:30 | |

以 上